

県内景気動向調査(2018 年 4-6 月実績、7-9 月見通し) — 県内景気は拡大している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新崎勝彦)では、このたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断と見通し

県内需要だけでなく、海外、県外からの観光客需要の活発さを背景に、今期(4-6 月)の県内企業の景況判断 BSI は 3.4 と「上昇」超となっていることなどから、「県内景気は拡大している」。

来期(7-9 月)の見通しとしては、県内、県外、海外需要も引き続き持続するとみられ、景気は引き続き拡大が続くと見込まれる。ただ、人手不足が各企業において深刻な課題となっていることから今後の行方を注視する必要がある。

【業種別概要】

■ 観光関連 [好調ながら競争は激化。人手不足も課題]

- 沖縄への入域観光客数は依然として増加しているが、旅行形態や手配チャネルなどの変化により、さまざまな業種で客の分散化が進んでいるとみられ、集客に苦勞する事業者もみられる。

■ 建設・不動産関連 [民間は好調が持続。公共も拡大]

- 建設関連は官需、民需ともに好調さを維持している。人手不足はあるものの発注工事やすでに受注している工事が多数あるため、当面このような状態が続くと考えられる。中古の戸建て・マンションが販売当時より高値で売買される状況が依然として持続。

■ 食品・消費・サービス関連 [個人消費は堅調 人手不足は深刻化]

- 全体的には個人消費は底堅く推移。県内の食品製造、消費やサービス関連は引き続き観光客需要による需要の押し上げがあった。今後も県外大手チェーンなどとの競争は続くことから、各事業所とも、いかに集客し、売上を伸ばしていくかは大きな課題。

【資本金別・地域別概要】

■ 資本金別・現状判断と見通し

- 今期の景況判断 BSI は、5000 万円以上 1 億円未満のカテゴリーを除き、すべてのカテゴリーにおいて「上昇」超となっている。1,000 万円未満の BSI は 13.6 と最も高い。
- 来期(7-9 月期)は、すべてのカテゴリーで「上昇」が「下降」を上回っている。

■ 地域別・現状判断と見通し

- 今期の景況判断 BSI は、那覇を除く地域で「上昇」超となっている。最も BSI が高い地域は離島地区で 35.5。本島北部地区は 5.3、本島南部地区は 4.8 となっている。
- 来期(7-9 月期)の見通しとしては、すべての地域で「上昇」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 島田、瀬川)
〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8703

1 県内企業景況調査結果概要

(1) 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

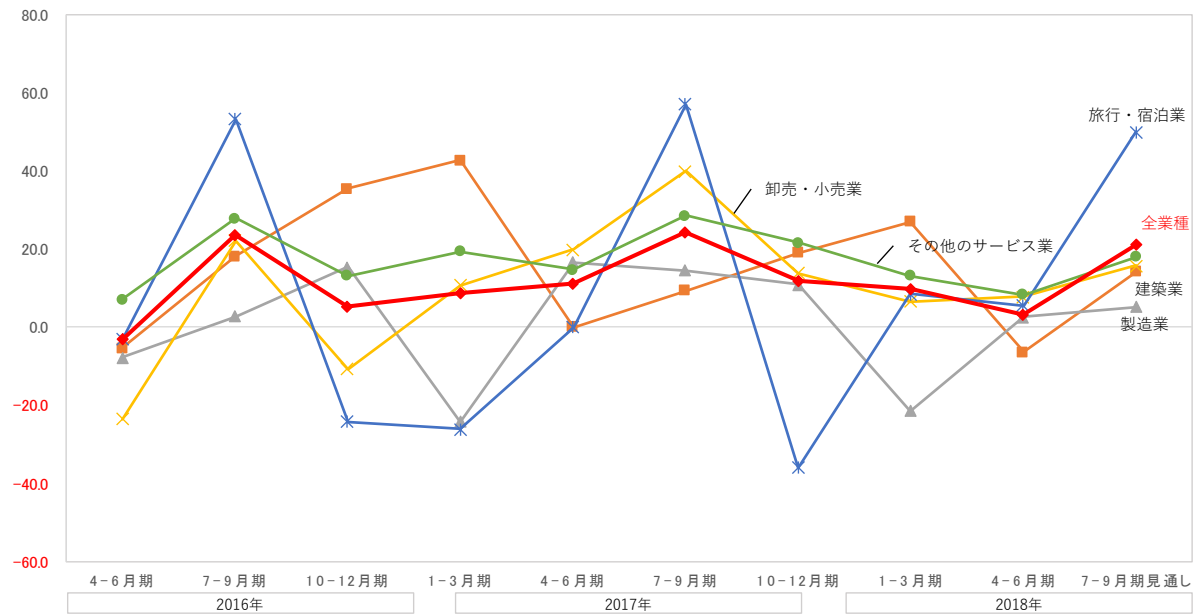
- 実績(2018年4-6月期)
 - 全業種の景況判断 BSI(実績)は、3.4 と「上昇」超
- 見通し(2018年7-9月期)
 - 全業種の景況判断 BSI(見通し)は、21.1 と「上昇」超

■ 主要業種別結果

- 実績(2018年4-6月期)
 - 飲食サービス業(-35.7)、建設業(-6.3)、情報通信業(-4.5)を除いて、それ以外の業種で「上昇」超となっている
- 見通し(2018年7-9月期)
 - すべての業種で「上昇」超の見通しとなっている

時期		2017年				2018年			
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
		調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
業種BSI		8.6	11.3	24.3	12.0	9.9	15.7	3.4	21.1
	建設業	42.9	0.0	9.4	19.1	27.0	7.9	-6.3	14.3
	製造業	-24.2	16.7	14.6	10.9	-21.4	31.0	2.6	5.3
	情報通信業	0.0	-17.4	-5.6	22.2	30.4	21.7	-4.5	22.7
	卸売・小売業	10.8	20.0	40.0	13.9	6.7	10.7	7.9	15.8
	不動産業等	15.0	30.2	6.5	15.4	12.8	17.9	11.1	33.3
	旅行・宿泊業	-26.1	0.0	57.1	-36.0	8.6	-5.7	5.6	50.0
	飲食サービス業	18.8	12.5	70.6	-21.1	-38.5	30.8	-35.7	21.4
	医療・福祉	-25.0	0.0	-17.6	17.6	-12.5	37.5	14.3	19.0
	その他のサービス業	19.4	14.8	28.6	21.6	13.2	18.4	8.3	18.1
資本金別	1,000万円未満	1.8	19.0	34.1	14.1	18.5	30.4	13.6	32.1
	1,000万円以上5,000万円未満	8.6	9.8	20.6	11.7	9.0	12.7	2.0	13.1
	5,000万円以上1億円未満	25.8	7.3	24.4	34.8	0.0	0.0	-7.3	24.4
	1億円以上	0.0	11.9	16.7	6.7	10.3	17.9	9.5	38.1
従業員数別	10人未満	18.6	15.4	19.5	11.4	22.2	25.9	4.1	24.3
	10人以上20人未満	0.0	7.1	36.3	14.1	14.1	8.5	3.0	13.6
	20人以上50人未満	0.0	9.9	23.1	9.1	7.4	5.3	-3.0	15.2
	50人以上100人未満	22.5	15.3	21.6	24.1	3.3	20.0	7.4	31.5
	100人以上	0.0	5.3	27.3	5.2	-1.6	19.7	1.7	24.1
地域別	本島北部地区	0.0	0.0	38.2	24.1	13.9	8.3	5.3	13.2
	本島中部地区	14.4	10.8	18.3	8.2	7.9	20.4	0.0	28.5
	本島南部地区	-5.6	16.7	21.7	18.5	14.3	19.0	4.8	6.3
	那覇地区	6.5	5.9	26.3	20.8	14.5	4.5	-3.2	22.3
	離島地区	18.2	36.8	35.9	-16.2	-7.1	39.3	35.5	16.1

■ 主要業種別推移



(2) 調査概要および調査対象について

原則、県内に本社事業所がある県内事業所を対象とした。調査票発送先事業所の抽出にあたっては、業種別、地域別で経済センサス基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して事業所を選定した。なお、事業所リストについては、信用調査会社の企業リスト、並びに各種公開情報等を参考にして作成した。

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項 目	内 容
調査対象	原則、県内に本社所在地がある事業所。2,000 事業所に発送した。 ただ、調査対象有効事業所数は、宛先不明として返送されてきた 5 事業所を除いた 1,995 事業所。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収
調査期間	2018 年 6 月 4 日に調査票を発送し、6 月 29 日到着分までを集計
回収状況	有効回収数：388 通（有効回答率：19.4%）

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI（Business Survey Index）の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

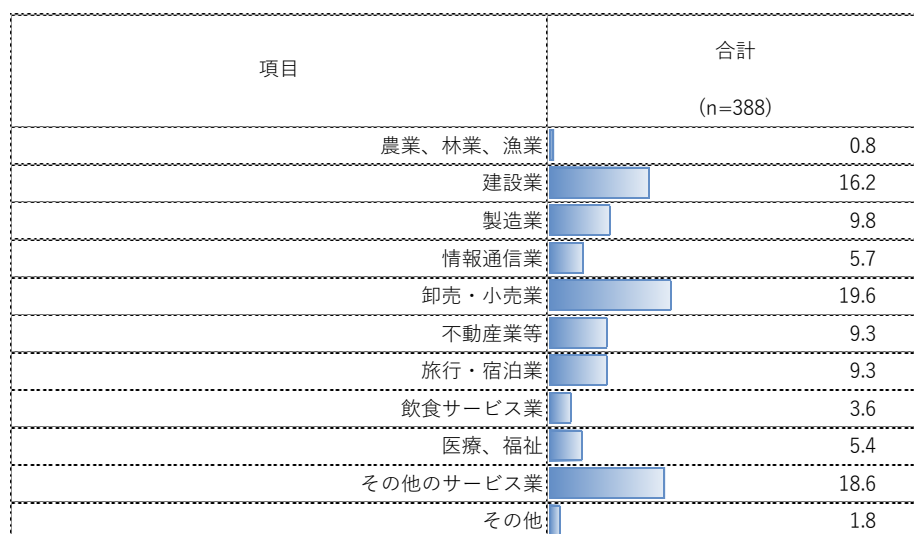
- ※ 本文中における、カッコ内()の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ なお、調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が 100.0 をこえるものがある。
- ※ 統計表において(n=)のイコール(=)のあとの数値はサンプル数を表す。

(3) 主要調査結果

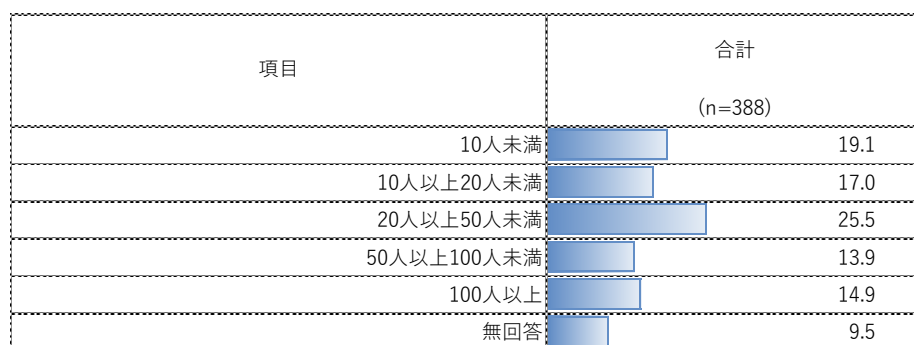
回答企業属性

- 回答企業総数は 388 社。卸売・小売業 19.6% (76 社)、その他のサービス業 18.6% (72 社)、建設業 16.2% (63 社)、製造業 9.8% (38 社)、不動産業等 9.3% (36 社)、となっている。
- 従業員数別では、20 人以上 50 人未満が最も多く 25.5% (99 社)となっている。100 人未満の企業で約 8 割を占めている。
- 資本金別では、1,000 万円以上 5,000 万円未満の企業が 51.3% (199 社)となっている。

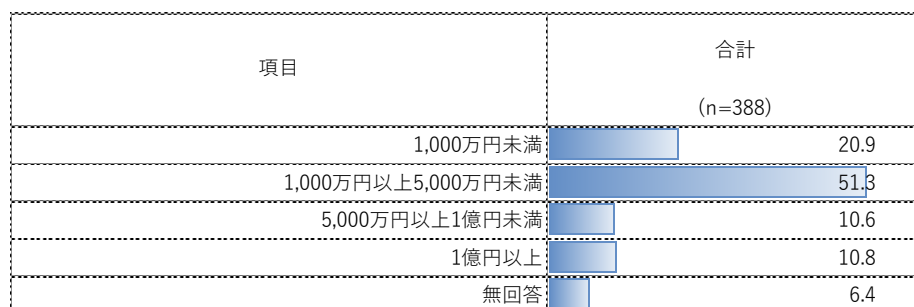
■ 業種



■ 従業員数

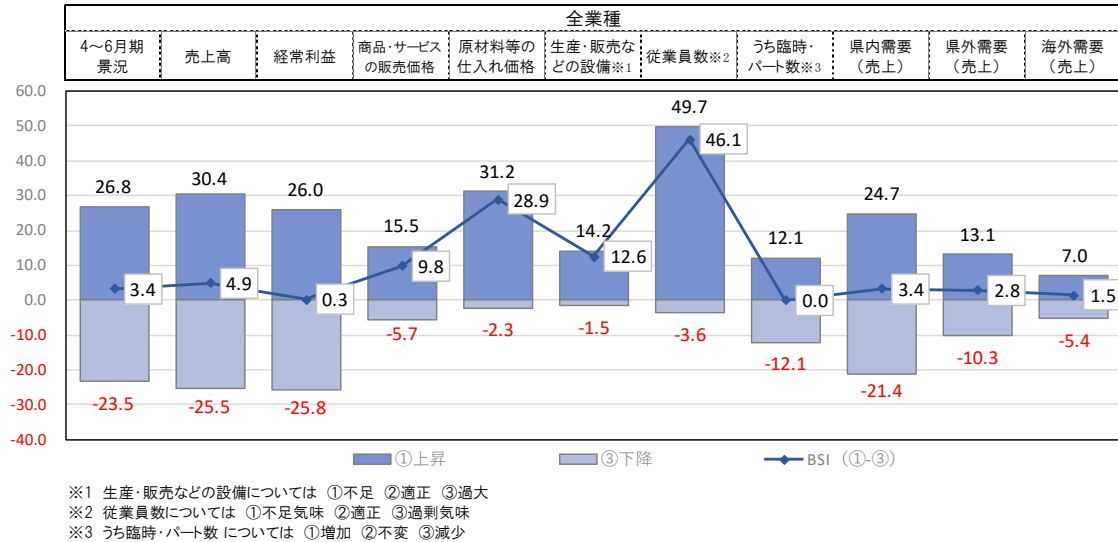


■ 資本金



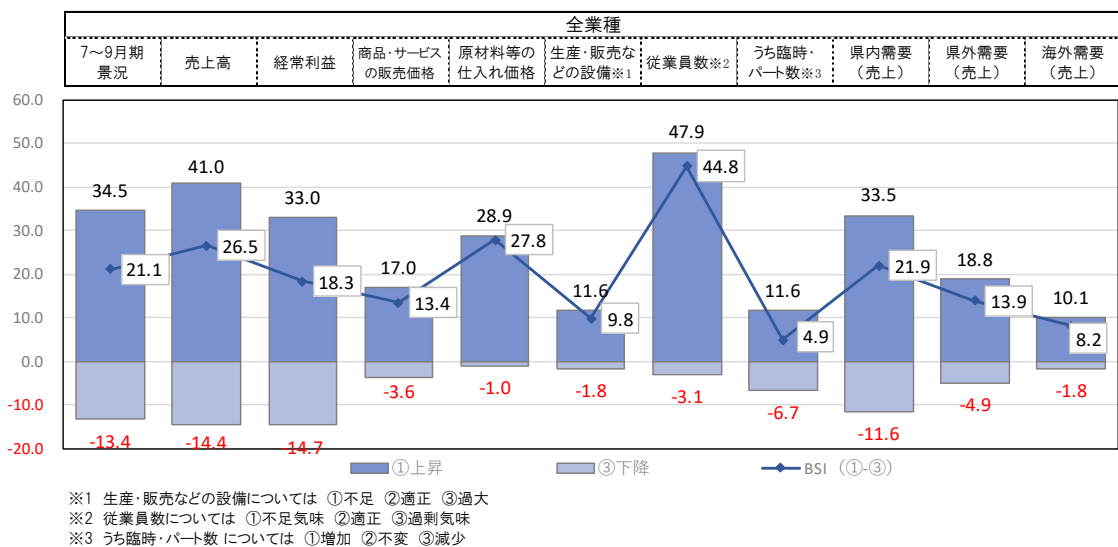
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較)BSI 全業種

- 4-6 月期景況 BSI は 3.4 で、「上昇」超となっている。
- 従業員数(46.1)は大幅に「不足気味」超となっている。
- 県内需要(3.4)、県外需要(2.8)、海外需要(1.5)ともに「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較)BSI 全業種

- 7-9 月期景況見通しは 21.1 で、「上昇」超となっている。すべての項目において「上昇」超となっている。
- 従業員数(44.8)は「不足気味」超が続く見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(27.8)も「上昇」超の見通しとなっている。
- 県内需要(21.9)、県外需要(13.9)、海外需要(8.2)ともに「上昇」超の見通しとなっている。



■ 4-6 月期の景況実績について(1-3 月期との比較)

- 「上昇」との回答は 26.8% (104 社)。一方、「下降」との回答は 23.5% (91 社)。「変わらない」は 49.7% (193 社)。「上昇」から「下降」を差し引いた景況判断 BSI は 3.4 である。
- 上昇の要因は、県内需要、県外需要、海外需要の動向が上位となっている。
- 下降の要因は、県内需要、県外需要、仕入れ価格の動向が上位となっている。

4-6 月期の上昇要因 …… 県内需要の動向 71.2%

4～6 月期の景況: 上昇要因

項目	合計 (n=104)
県内需要(売上)の動向	71.2
県外需要(売上)の動向	34.6
海外需要(売上)の動向	16.3
販売価格の動向	15.4
仕入れ価格の動向	10.6
資金繰り・資金調達の動向	6.7
仕入れ以外のコストの動向	5.8
為替レート	2.9
株式・不動産等の資産価格の動向	1.9
その他	5.8
無回答	1.9

4～6 月期の景況: 下降要因

項目	合計 (n=91)
県内需要(売上)の動向	68.1
県外需要(売上)の動向	34.1
仕入れ価格の動向	22.0
販売価格の動向	14.3
海外需要(売上)の動向	13.2
仕入れ以外のコストの動向	12.1
資金繰り・資金調達の動向	4.4
為替レート	2.2
株式・不動産等の資産価格の動向	0.0
その他	15.4
無回答	1.1

■ 7-9月期の景況見通しについて(4-6月期との比較)

- 「上昇」との回答は34.5%(134社)。一方、「下降」との回答は13.4%(52社)。「変わらない」は46.4%(180社)。「上昇」から「下降」を差し引いた景況判断BSIは21.1である。
- 上昇見通しの要因としては、県内需要、県外需要、海外需要の動向が上位となっている。
- 下降見通しの要因は、県内需要、仕入れ価格、県外需要の動向が上位となっている。

7-9月期見通しの上昇要因 … 県内需要の動向 73.1%

7～9月期の景況見通し: 上昇要因

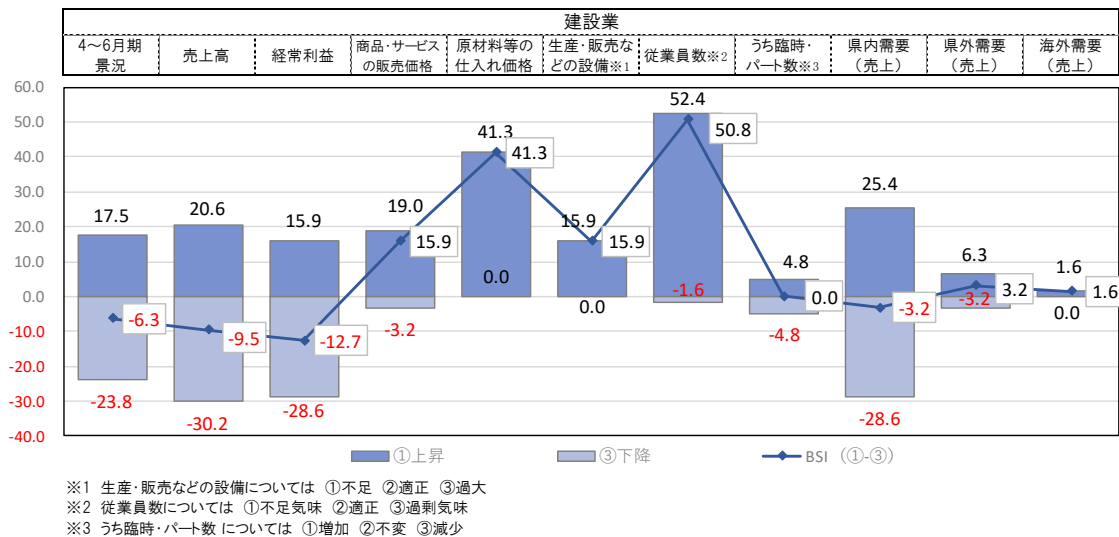
項目	合計 (n=134)
県内需要(売上)の動向	73.1
県外需要(売上)の動向	43.3
海外需要(売上)の動向	21.6
販売価格の動向	19.4
仕入れ価格の動向	11.9
仕入れ以外のコストの動向	7.5
資金繰り・資金調達の動向	4.5
株式・不動産等の資産価格の動向	1.5
為替レート	0.7
その他	7.5
無回答	0.7

7～9月期の景況見通し: 下降要因

項目	合計 (n=52)
県内需要(売上)の動向	59.6
仕入れ価格の動向	34.6
県外需要(売上)の動向	26.9
販売価格の動向	21.2
仕入れ以外のコストの動向	15.4
海外需要(売上)の動向	11.5
資金繰り・資金調達の動向	7.7
為替レート	5.8
株式・不動産等の資産価格の動向	1.9
その他	17.3
無回答	0.0

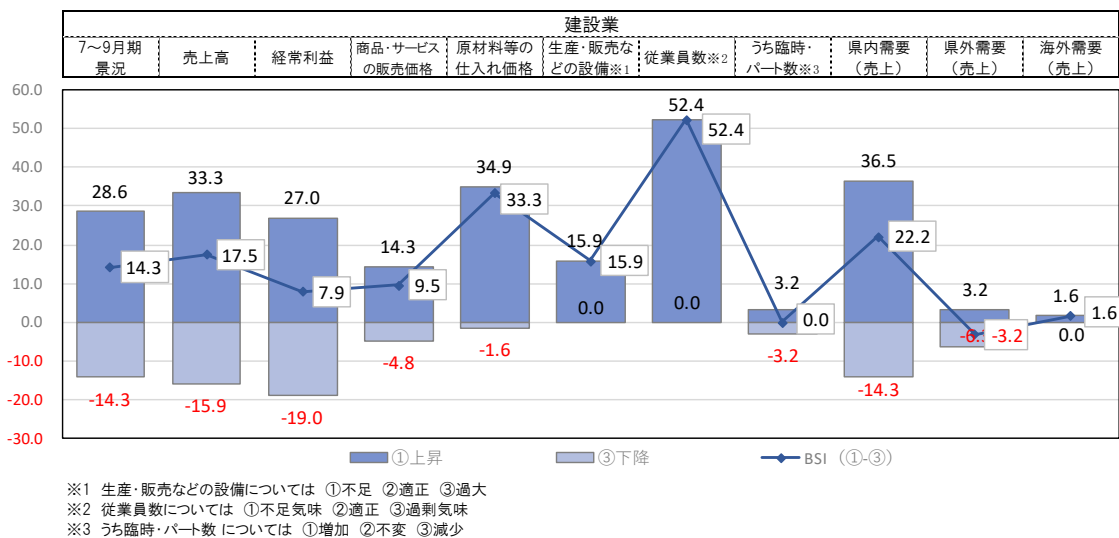
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 建設業

- 4-6 月期の景況は-6.3 で「下降」超となっている。経常利益(-12.7)、売上高(-9.5)となっている。「従業員数」(50.8)は「不足気味」超、原材料の仕入れ価格(41.3)は「上昇」超となっている。
- 従業員数(50.8)は「不足気味」が大きく上回っている。



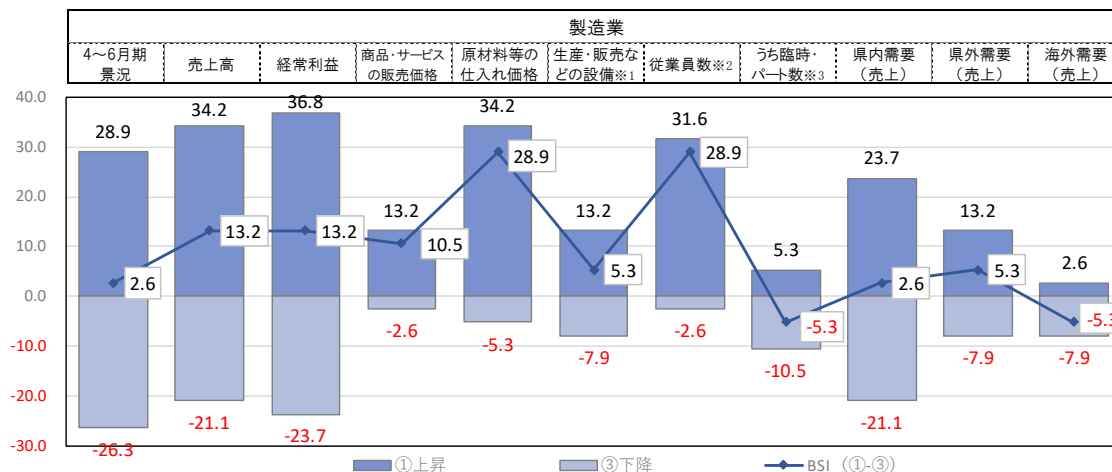
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 建設業

- 7-9 月期の景況見通しは14.3で「上昇」超となっている。ほとんどの項目が「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(52.4)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(33.3)も「上昇」超の見通しとなっている。



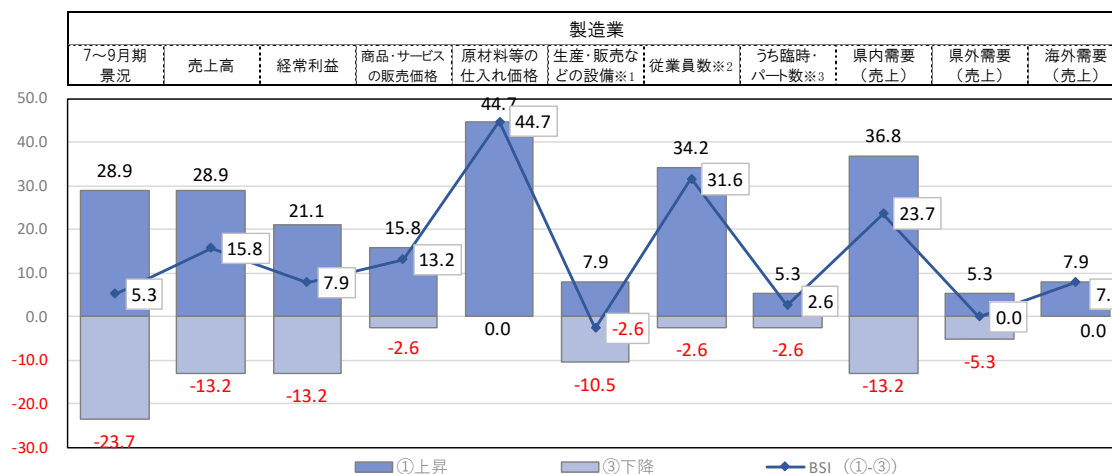
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 製造業

- 4-6 月期の景況は 2.6 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。売上高(13.2)、経常利益(13.2)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(28.9)も「上昇」超となっている。
- 従業員数(28.9)は「不足気味」となっている。



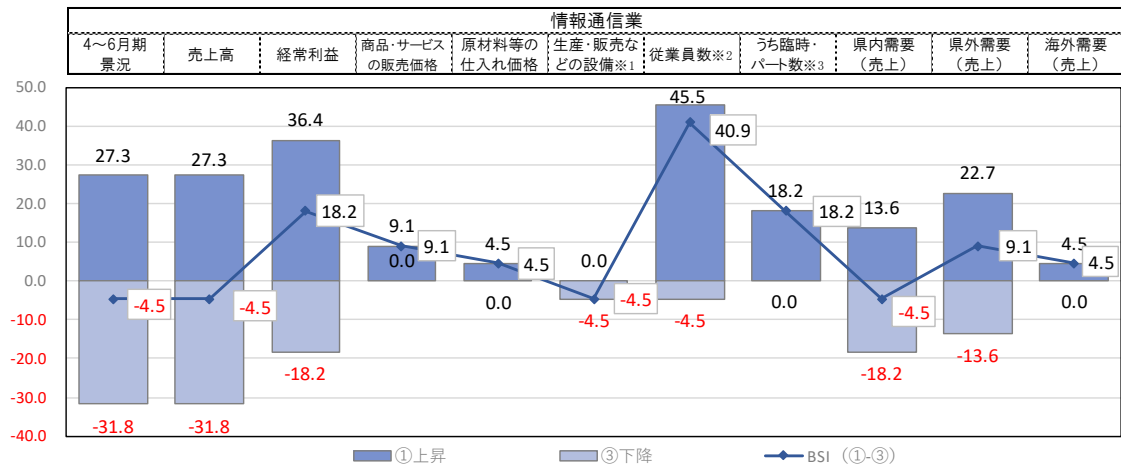
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 製造業

- 7-9 月期の景況見通しは 5.3 で「上昇」超の見通しとなっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。
- 従業員数(31.6)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(44.7)も「上昇」超の見通しとなっている。



■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 情報通信業

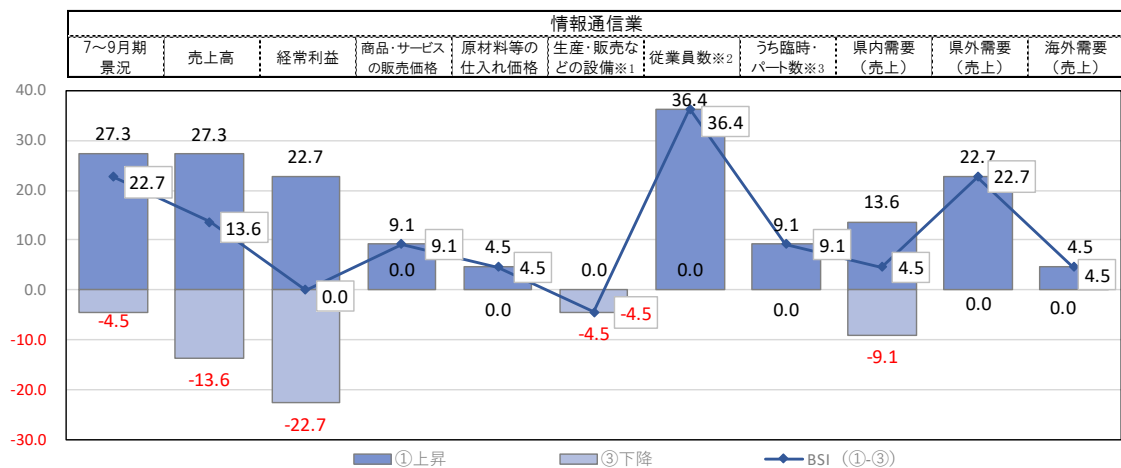
- 4-6 月期の景況は-4.5で「下降」超となっている。売上高(-4.5)、県内需要(-4.5)となっている。
- 一方、経常利益(18.2)は「上昇」超、従業員数(40.9)は「不足気味」が大きく上回っている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 情報通信業

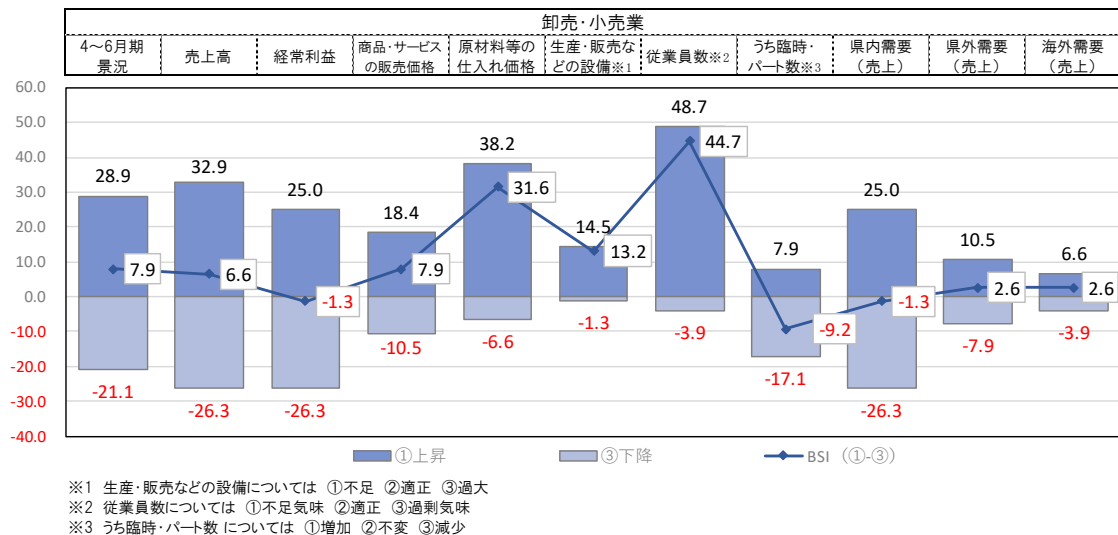
- 7-9 月期の景況見通しは 22.7 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(36.4)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

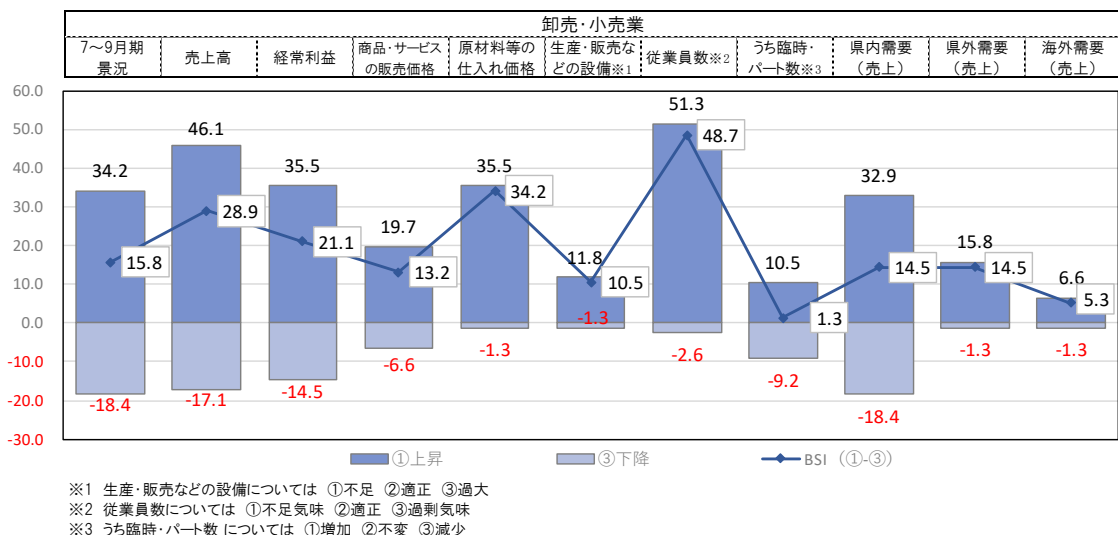
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 卸売・小売業

- 4-6 月期の景況は 7.9 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。商品・サービスの販売価格(7.9)、売上高(6.6)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(31.6)は「上昇」超、経常利益(-1.3)は「下降」超、従業員数(44.7)は「不足気味」が大きく上回っている。



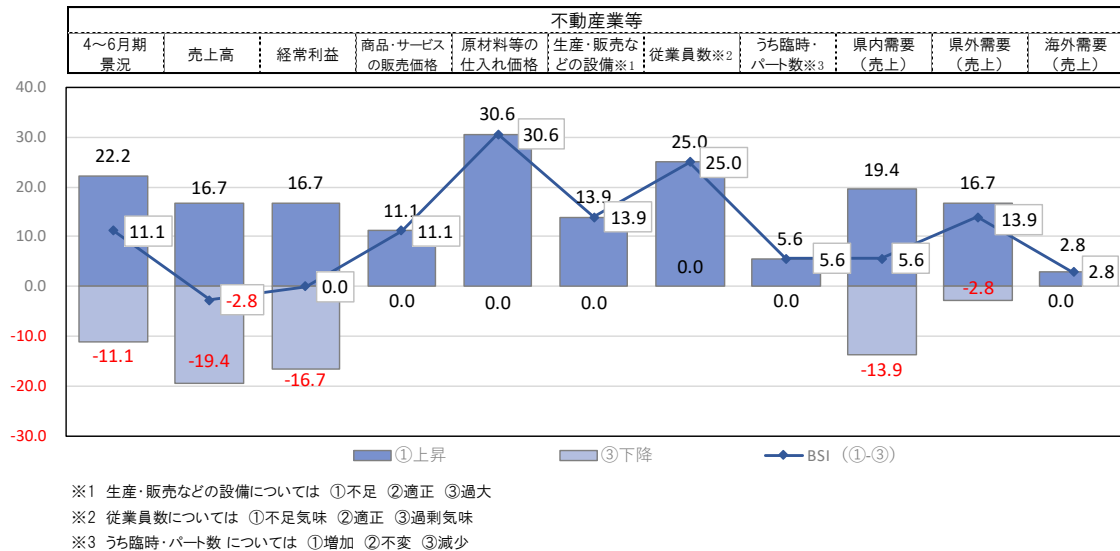
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 卸売・小売業

- 7-9 月期の景況見通しは 15.8 で「上昇」超となっている。すべての項目において、「上昇」超となる見通しである。売上高(28.9)、経常利益(21.1)となっている。
- 従業員数(48.7)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(34.2)も「上昇」超の見通しとなっている。



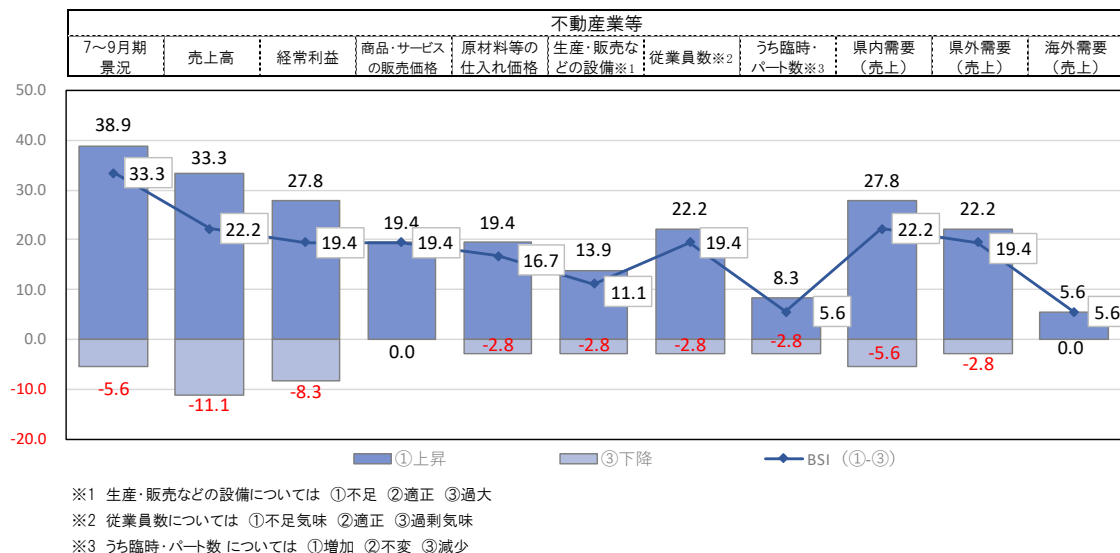
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 不動産業等

- 4-6 月期の景況は 11.1 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。県外需要(13.9)、商品・サービスの販売価格(11.1)、県内需要(5.6)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(30.6)は「上昇」超、従業員数(25.0)は「不足気味」となっている。



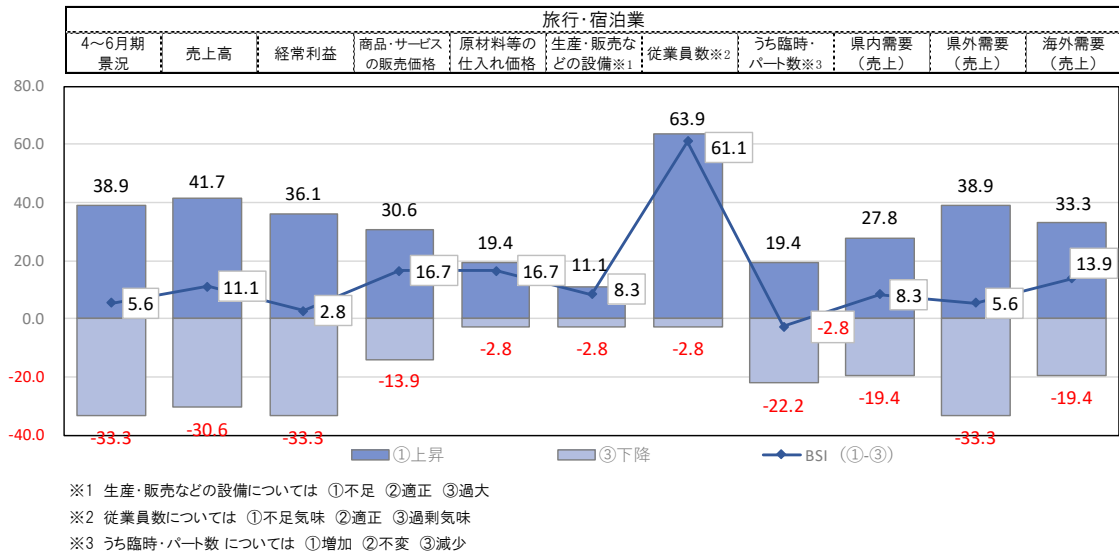
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 不動産業等

- 7-9 月期の景況見通しは 33.3 で、「上昇」超となっている。すべての項目において、「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(19.4)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。



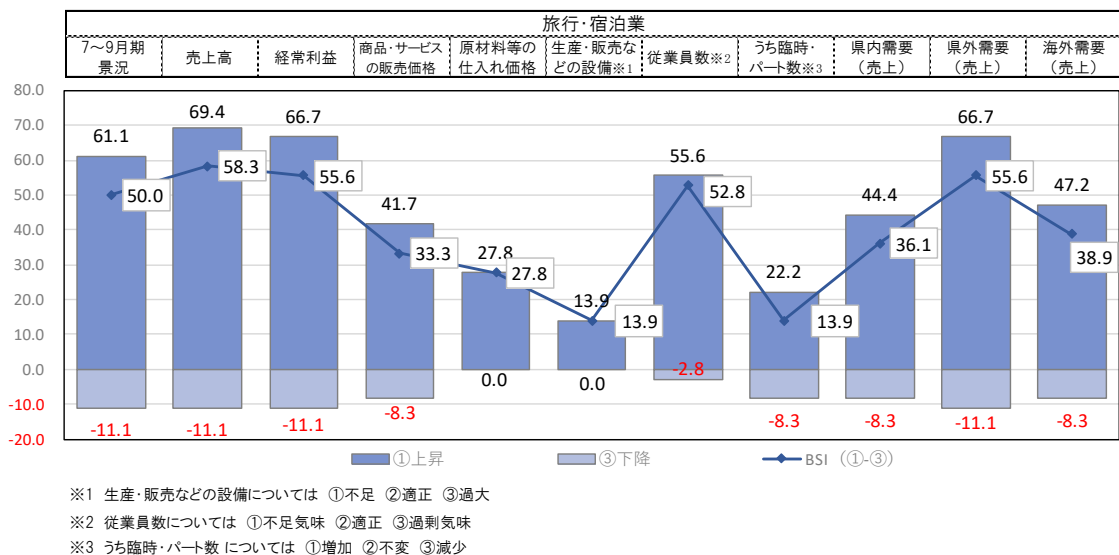
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 旅行・宿泊業

- 4-6 月期の景況は 5.6 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。商品・サービスの販売価格(16.7)、海外需要(13.9)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(16.7)は「上昇」超、従業員数(61.1)は「不足気味」が大きく上回っている。



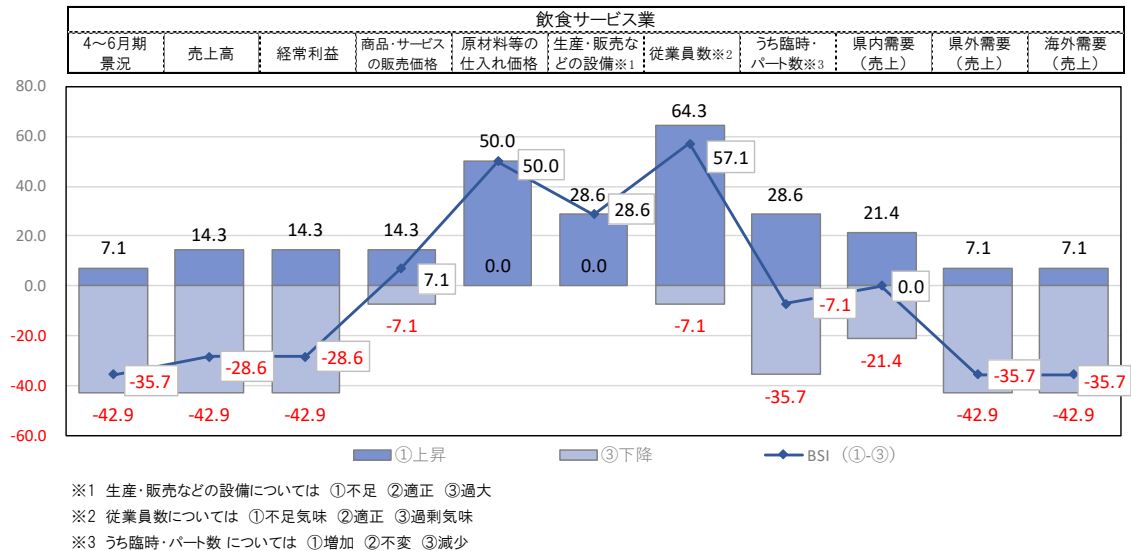
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 旅行・宿泊業

- 7-9 月期の景況見通しは 50.0 で、「上昇」超となっている。すべての項目において、「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(52.8)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。



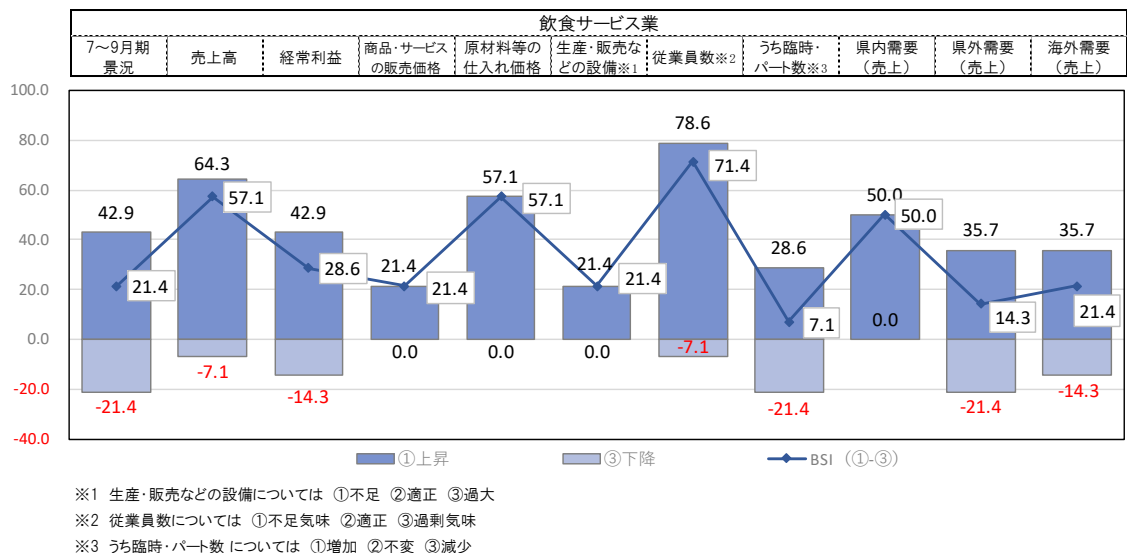
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 飲食サービス業

- 4-6 月期の景況は-35.7で「下降」超となっている。ほとんどの項目において「下降」超となっている。県外需要(-35.7)、海外需要(-35.7)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(50.0)は「上昇」超、従業員数(57.1)は「不足気味」が大きく上回っている。



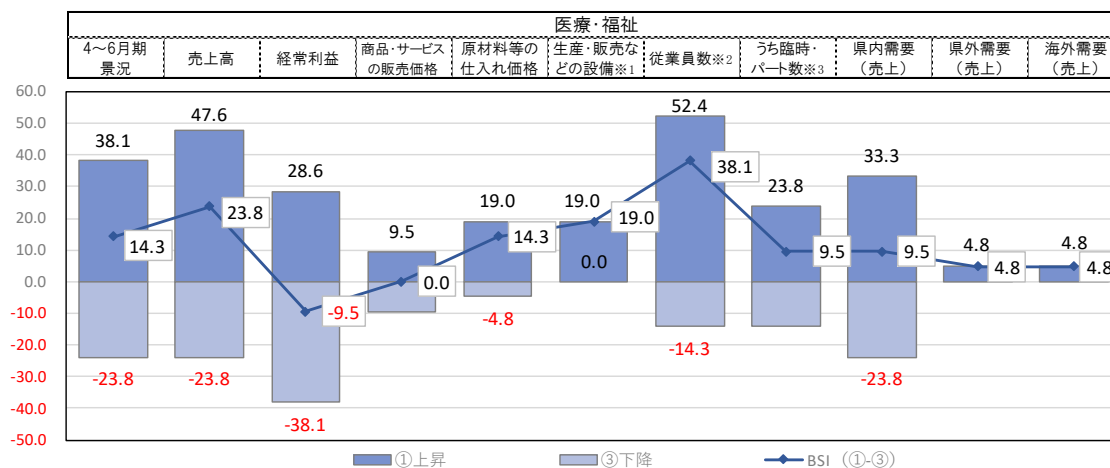
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 飲食サービス業

- 7-9 月期の景況見通しは 21.4で、「上昇」超となる見通しとなっている。すべての項目において、「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(71.4)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。原材料等の仕入れ価格(57.1)も「上昇」超の見通しとなっている。



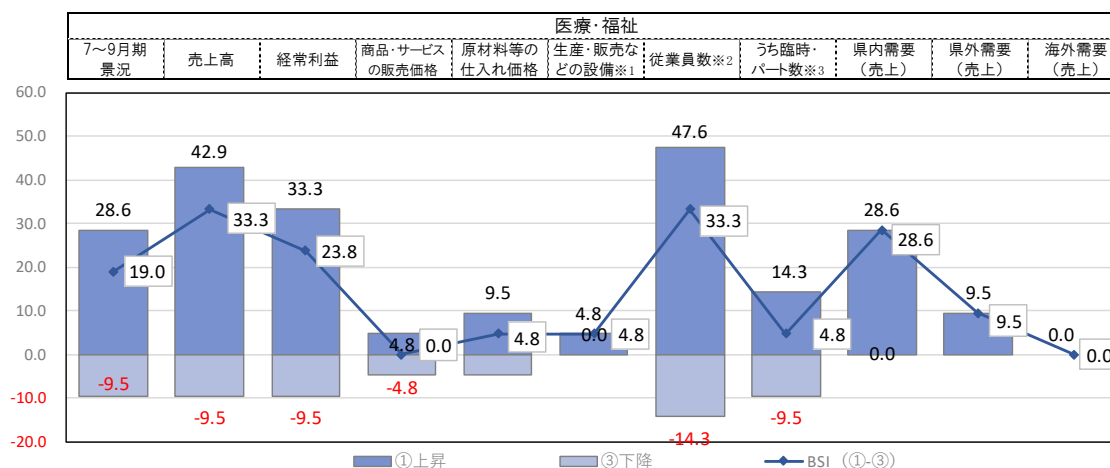
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 医療・福祉

- 4-6 月期の景況は 14.3 で「上昇」超となっている。ほとんどの項目において「上昇」超となっている。売上高(23.8)、県内需要(9.5)となっている。
- 一方、経常利益(-9.5)は「下降」超、原材料の仕入れ価格(14.3)は「上昇」超、従業員数(38.1)は「不足気味」となっている。



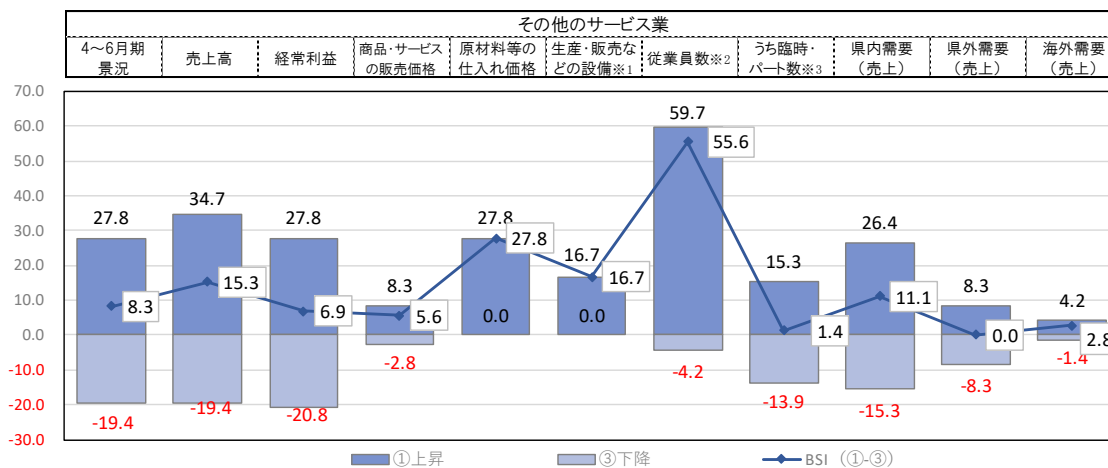
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 医療・福祉

- 7-9 月期の景況見通しは 19.0 で「上昇」超となる見通しとなっている。
- 従業員数(33.3)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。



■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) その他のサービス業

- 4-6 月期の現状(1-3 月比較)その他のサービス業 4-6 月期の景況は 8.3 で「上昇」超となっている。すべての項目において「上昇」超となっている。売上高(15.3)、県内需要(11.1)となっている。
- 一方、原材料の仕入れ価格(27.8)は「上昇」超、従業員数(55.6)は「不足気味」が大きく上回っている。



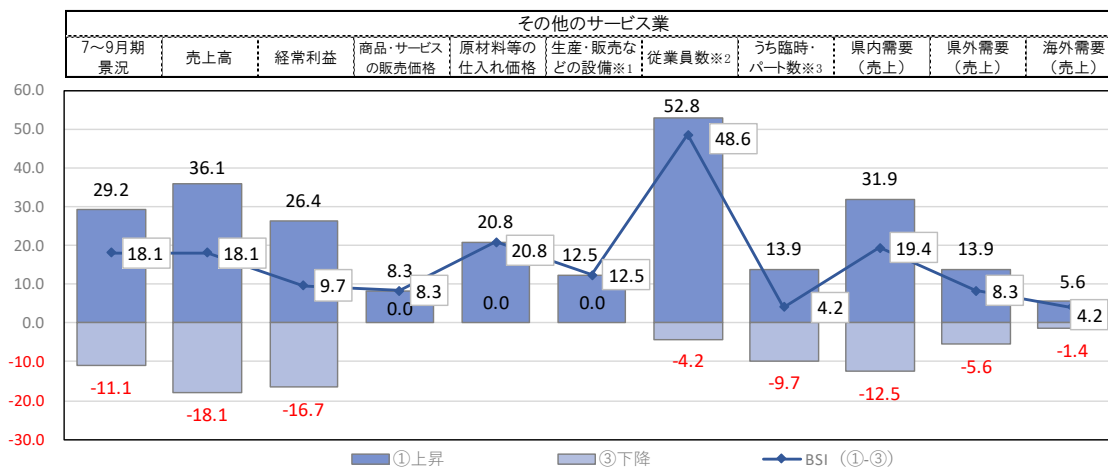
※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大

※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味

※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) その他のサービス業

- 7-9 月期の景況見通しは 18.1 で「上昇」超となる見通しとなっている。すべての項目において、「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(48.6)は「不足気味」が続くとの見通しとなっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大

※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味

※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■ 建設業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	42.9	0.0	9.4	19.1	27.0	7.9	-6.3	14.3
売上高	31.4	-4.1	6.3	23.5	23.8	3.2	-9.5	17.5
経常利益	28.6	-9.5	9.4	10.3	14.3	1.6	-12.7	7.9
商品・サービスの販売価格	20.0	0.0	6.3	5.9	20.6	19.0	15.9	9.5
原材料等の仕入れ価格	34.3	23.0	21.9	33.8	47.6	42.9	41.3	33.3
生産・販売などの設備	14.3	12.2	10.9	11.8	15.9	14.3	15.9	15.9
従業員数	65.7	54.1	60.9	54.4	68.3	55.6	50.8	52.4
うち臨時・パート	-2.9	4.1	9.4	7.4	7.9	1.6	0.0	0.0
県内需要（売上）	31.4	6.8	18.8	26.5	30.2	17.5	-3.2	22.2
県外需要（売上）	8.6	-6.8	7.8	1.5	9.5	7.9	3.2	-3.2
海外需要（売上）	2.9	-1.4	0.0	-1.5	3.2	1.6	1.6	1.6

■ 製造業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	-24.2	16.7	14.6	10.9	-21.4	31.0	2.6	5.3
売上高	-36.4	16.7	4.9	21.7	-16.7	33.3	13.2	15.8
経常利益	-33.3	16.7	7.3	17.4	-21.4	33.3	13.2	7.9
商品・サービスの販売価格	-12.1	16.7	2.4	6.5	7.1	14.3	10.5	13.2
原材料等の仕入れ価格	15.2	18.8	7.3	30.4	23.8	28.6	28.9	44.7
生産・販売などの設備	9.1	2.1	7.3	10.9	14.3	16.7	5.3	-2.6
従業員数	33.3	14.6	24.4	34.8	26.2	28.6	28.9	31.6
うち臨時・パート	-9.1	2.1	-2.4	19.6	-14.3	-4.8	-5.3	2.6
県内需要（売上）	-39.4	12.5	12.2	21.7	-11.9	33.3	2.6	23.7
県外需要（売上）	-24.2	14.6	2.4	0.0	-19.0	23.8	5.3	0.0
海外需要（売上）	3.0	16.7	2.4	0.0	7.1	9.5	-5.3	7.9

■ 情報通信業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	0.0	-17.4	-5.6	22.2	30.4	21.7	-4.5	22.7
売上高	28.6	-21.7	-27.8	22.2	34.8	13.0	-4.5	13.6
経常利益	21.4	-17.4	-22.2	16.7	34.8	13.0	18.2	0.0
商品・サービスの販売価格	0.0	-4.3	0.0	5.6	4.3	4.3	9.1	9.1
原材料等の仕入れ価格	7.1	4.3	5.6	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5
生産・販売などの設備	14.3	-4.3	5.6	-5.6	4.3	4.3	-4.5	-4.5
従業員数	64.3	43.5	38.9	50.0	60.9	52.2	40.9	36.4
うち臨時・パート	-14.3	4.3	11.1	11.1	4.3	13.0	18.2	9.1
県内需要（売上）	28.6	-8.7	-5.6	27.8	30.4	8.7	-4.5	4.5
県外需要（売上）	35.7	-4.3	0.0	22.2	39.1	34.8	9.1	22.7
海外需要（売上）	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3	4.3	4.5	4.5

■卸売・小売業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	10.8	20.0	40.0	13.9	6.7	10.7	7.9	15.8
売上高	3.1	14.7	38.7	26.6	5.3	10.7	6.6	28.9
経常利益	4.6	13.3	34.7	6.3	0.0	10.7	-1.3	21.1
商品・サービスの販売価格	10.8	8.0	12.0	16.5	6.7	5.3	7.9	13.2
原材料等の仕入れ価格	26.2	22.7	21.3	40.5	30.7	14.7	31.6	34.2
生産・販売などの設備	10.8	16.0	8.0	7.6	8.0	8.0	13.2	10.5
従業員数	44.6	50.7	46.7	44.3	38.7	38.7	44.7	48.7
うち臨時・パート	-6.2	0.0	0.0	-1.3	-10.7	-12.0	-9.2	1.3
県内需要（売上）	7.7	22.7	37.3	26.6	5.3	6.7	-1.3	14.5
県外需要（売上）	4.6	9.3	17.3	12.7	2.7	4.0	2.6	14.5
海外需要（売上）	4.6	5.3	6.7	1.3	2.7	0.0	2.6	5.3

■不動産業等BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	15.0	30.2	6.5	15.4	12.8	17.9	11.1	33.3
売上高	25.0	23.3	6.5	23.1	28.2	15.4	-2.8	22.2
経常利益	25.0	20.9	0.0	15.4	12.8	10.3	0.0	19.4
商品・サービスの販売価格	15.0	14.0	10.9	7.7	28.2	15.4	11.1	19.4
原材料等の仕入れ価格	40.0	23.3	30.4	26.9	38.5	33.3	30.6	16.7
生産・販売などの設備	5.0	9.3	6.5	7.7	10.3	12.8	13.9	11.1
従業員数	25.0	18.6	21.7	3.8	12.8	12.8	25.0	19.4
うち臨時・パート	0.0	4.7	15.2	0.0	2.6	0.0	5.6	5.6
県内需要（売上）	30.0	25.6	2.2	11.5	33.3	20.5	5.6	22.2
県外需要（売上）	20.0	11.6	15.2	3.8	7.7	10.3	13.9	19.4
海外需要（売上）	0.0	0.0	2.2	0.0	-2.6	-2.6	2.8	5.6

■旅行・宿泊業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	-26.1	0.0	57.1	-36.0	8.6	-5.7	5.6	50.0
売上高	-13.0	-7.3	74.3	-24.0	5.7	-2.9	11.1	58.3
経常利益	-21.7	-12.2	57.1	-32.0	-5.7	-8.6	2.8	55.6
商品・サービスの販売価格	-17.4	17.1	60.0	-24.0	11.4	5.7	16.7	33.3
原材料等の仕入れ価格	26.1	31.7	37.1	12.0	17.1	22.9	16.7	27.8
生産・販売などの設備	17.4	17.1	17.1	12.0	11.4	14.3	8.3	13.9
従業員数	52.2	51.2	54.3	48.0	65.7	60.0	61.1	52.8
うち臨時・パート	0.0	-19.5	-11.4	-12.0	-17.1	-20.0	-2.8	13.9
県内需要（売上）	-21.7	-7.3	25.7	-8.0	0.0	-2.9	8.3	36.1
県外需要（売上）	-8.7	4.9	60.0	-44.0	2.9	0.0	5.6	55.6
海外需要（売上）	-21.7	2.4	60.0	-28.0	20.0	-2.9	13.9	38.9

■飲食サービス業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	18.8	12.5	70.6	-21.1	-38.5	30.8	-35.7	21.4
売上高	18.8	6.3	70.6	-36.8	-23.1	69.2	-28.6	57.1
経常利益	18.8	0.0	52.9	-42.1	-23.1	30.8	-28.6	28.6
商品・サービスの販売価格	25.0	37.5	11.8	0.0	23.1	23.1	7.1	21.4
原材料等の仕入れ価格	25.0	37.5	29.4	52.6	46.2	7.7	50.0	57.1
生産・販売などの設備	6.3	12.5	5.9	0.0	7.7	15.4	28.6	21.4
従業員数	62.5	62.5	76.5	57.9	69.2	69.2	57.1	71.4
うち臨時・パート	-6.3	-25.0	-17.6	-21.1	-38.5	0.0	-7.1	7.1
県内需要（売上）	-6.3	-12.5	58.8	-15.8	7.7	38.5	0.0	50.0
県外需要（売上）	25.0	6.3	58.8	-26.3	-7.7	23.1	-35.7	14.3
海外需要（売上）	12.5	43.8	64.7	5.3	-7.7	15.4	-35.7	21.4

■医療・福祉BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	-25.0	0.0	-17.6	17.6	-12.5	37.5	14.3	19.0
売上高	-37.5	0.0	-5.9	29.4	-6.3	43.8	23.8	33.3
経常利益	-25.0	-6.3	5.9	11.8	-12.5	31.3	-9.5	23.8
商品・サービスの販売価格	-25.0	0.0	0.0	0.0	-6.3	12.5	0.0	0.0
原材料等の仕入れ価格	0.0	12.5	0.0	-5.9	6.3	25.0	14.3	4.8
生産・販売などの設備	0.0	6.3	11.8	5.9	0.0	0.0	19.0	4.8
従業員数	37.5	0.0	23.5	41.2	43.8	56.3	38.1	33.3
うち臨時・パート	0.0	-6.3	5.9	0.0	-18.8	12.5	9.5	4.8
県内需要（売上）	-25.0	6.3	-11.8	35.3	-6.3	43.8	9.5	28.6
県外需要（売上）	0.0	-6.3	0.0	11.8	6.3	6.3	4.8	9.5
海外需要（売上）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0

■その他のサービス業BSI

時期	2017年				2018年			
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	19.4	14.8	28.6	21.6	13.2	18.4	8.3	18.1
売上高	12.9	6.8	28.6	31.1	11.8	17.1	15.3	18.1
経常利益	11.3	8.0	18.2	29.7	14.5	11.8	6.9	9.7
商品・サービスの販売価格	1.6	11.4	14.3	5.4	15.8	11.8	5.6	8.3
原材料等の仕入れ価格	9.7	20.5	20.8	20.3	22.4	17.1	27.8	20.8
生産・販売などの設備	6.5	8.0	22.1	13.5	14.5	21.1	16.7	12.5
従業員数	54.8	47.7	58.4	59.5	64.5	55.3	55.6	48.6
うち臨時・パート	11.3	13.6	2.6	5.4	7.9	10.5	1.4	4.2
県内需要（売上）	9.7	10.2	35.1	24.3	14.5	17.1	11.1	19.4
県外需要（売上）	4.8	11.4	5.2	16.2	9.2	13.2	0.0	8.3
海外需要（売上）	1.6	0.0	1.3	6.8	6.6	7.9	2.8	4.2

2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下のとおりである。

観光関連〔 好調ながら競争は激化。人手不足も課題 〕

4-6 月期における観光関連のBSIは 5.6 となり、上昇が下降をやや上回った、はしかの流行や、ゴールデンウィークの日数が昨年より少ないなどの影響があったものの、沖縄県への入域観光客数は順調に増加しており、事業者もその恩恵を受けている。しかし、好調であるがゆえに観光業界への新規参入が多く、個々の事業者では顧客分散により業績が低迷するケースも散見される。

旅行会社では、引き続き募集型団体旅行でニーズの減退がみられ、受け入れ件数は減少している。さらに、LCC やホテルを予約サイトで直接予約をする旅行者が増加していることから個人客も取り込みにくい状況となっている。個人客獲得のためには、個人旅行者との接点が必要であることから、個人向けのホテルやアクティビティ予約サイトの開発や、旅行者向けのラウンジを設置・拡充する動きが活発化している。

宿泊施設では、簡易宿所や民泊が増加による分散化が進む中、さらに、はしかの流行があった。ゴールデンウィークの日並びも昨年より悪く、業績を落とした事業者は多い。夏場の予約状況は概ね好調なもの、夏休みのホテルを予約する時期が、はしか流行の時期と重なったため、予約状況が芳しくない事業者もみられる。

交通関係では、特に個人の観光客の需要が旺盛だ。個人客をターゲットとするレンタカー業界では、事業者数および車両台数の増加が著しい。車両の増加により、特に国内客を対象とした事業者間で、競争が激化しているといわれる。貸切バスも同様で、事業者、バス台数とも増加している。しかし団体客は増加していないことから、県全体の貸切バスの稼働率は大幅な低下している。このような中、個人客需要を取り込むため、クルーズ船への対応や、外国の個人客を対象とした定期観光バス事業に注力している。

全体として、人手不足感があるなか、対策を講じなければ離職が増える状況にあり、多くの事業者では、待遇や働く環境の改善に着手している状況だ。

観光関連の今後の見通しについて、来期(7-9 月期)の景況判断 BSI は 50.0 と上昇が上回っている。はしかの収束や、これから迎える繁忙期への期待感も大きい。

建設・不動産関連〔 民間が依然好調。公共は拡大 〕

建設関連は官需、民需ともに好調さを維持している。建設業の 4-6 月期の企業の景況判断 BSI はマイナス 6.3 であったが、例年 4-6 月期は業績が低迷する時期であることや現状を不安視する意見はほとんどなく、次の 7-9 月期の見通しはプラスとなっていることから、ここ数年の建設業の好調さはしばらく続くであろう。

民需では、戸建住宅建設は一定の需要があるが、その中でも木造住宅の需要が年々高まっている。その主な要因は建設費の高騰である。木造住宅は沖縄で主流の RC(鉄筋コンクリート)住宅に比べ建設費が安く、RC と木造住宅を扱う事業者の中には、受注件数は例年並みでも、木造住宅の割合が増えたため、売上が減少しているところもある。

建設費は上昇しているがマンション需要も活発。那覇市内におけるマンションは、低層階の安価な部屋でも販売価格は 3000 万円を超える場合が多いが、それでも販売状況は好調のようだ。供給地域を見ても、沖縄市やうるま市周辺など本島中部地域でもマンションが建設されるようになってきた。アパート建設需要も高い水準で推移しているものの、建設費の高騰に加え、金融機関の借入審査基準が厳しく、以前のように土地を購入してアパートを建てるというケースは減少しているようだ。

ただし、建設関連費用の高騰が続けば、住宅を取得できる層は限られていく可能性があるため、今後も一定程度のアパート需要はあるであろう。

不動産関連事業者の今期の景況判断 BSI は 11.1 のプラスで、次の 7-9 月期の見通しは今期よりも高い水準になると予想されている。中古戸建て・マンションが販売当時より高値で売買される状況が依然として続いている。沖縄のマンション販売価格は、首都圏に比べればまだ安い水準にあるため、今後も将来の住まいとして、または投資物件として県外の方の購入が増えているようだ。

公共工事に関しては、5 月の公共工事請負額 3 カ月移動平均値は 931 億 7900 万円で、引き続き米軍基地や那覇空港関連の大型工事に加え、学校や団地などの耐震工事および建替え工事などが安定して発注されているため、請負額の大幅な落ち込みは無いとみられる。

食品・消費・サービス関連 [個人消費は堅調 人手不足は深刻化]

医療・福祉、その他のサービス業、卸売・小売業において 4-6 月期の景況判断 BSI はプラスとなっている。特に回答事業者数の多い卸売・小売業やその他のサービス業に関しては、県内、県外、海外需要ともにプラスとなっている。引き続き観光客需要による需要の押し上げがあった。

県内の飲食サービス業に関しては 3 期連続のマイナスとなった。県外需要、海外需要の減退もあり売上高、経常利益ともにマイナスとなっている。入域観光客数の恩恵を受けている事業者もある一方、はしかの影響による売上減少を指摘している事業者も見られた。

とはいえ、観光客需要が県内消費に占める割合は拡大していくであろう。飲食部門などにおいては観光客向けの店舗を新たにオープンさせる事業者も多い。客の奪い合いが今後は激しくなってくると考えられ、各事業者の取り組み次第によって業況に大きな差がでてくることも考えられる。

各企業における人手不足感はさらに強まっている。現在の社員の待遇改善のほか、来年度の新規採用についても、基本給など採用条件を見直した上で、従来よりも前倒しで採用活動を始めるような動きが強まっている。一方、パート・アルバイトの時給は上昇傾向が持続している。その結果、一部の事業所においては、人材確保のため時給を上げざるをえず、人件費の増大を懸念する声も見られるようになっている。

そのほか、さらなる集客に向けた店舗のリニューアル、施設の老朽化に伴う機械の更新や工場の改築といった設備投資を実施する企業もでてきている。そのような取り組みは、売上増だけでなく、効率化などにもつながり、労働生産性の向上にもつながるであろう。

来期(7-9 月期)の見通しとしては、夏場の観光シーズンということもあり、多くの業種で県内、県外、海外からの需要が増加するとみており、景況判断 BSI はプラスとなっている。県内における消費は観光客需要も含め堅調に推移するとみられる。

ただ、県内の可処分所得(勤労者世帯)は前年同月比では昨年 7 月以降、10 カ月連続でマイナスが続いており、実際、一部、小売、飲食部門における県内需要が減退しているとの声もある。今後の県内消費への影響の可能性も含め注視する必要がある。

以 上

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP(<http://www.kaiho-ri.jp/>)においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・島田までご連絡ください。

TEL: 098-869-8703 E-mail: shotoku_shimada@kaiho-ri.jp